

腸チフスワクチンの説明書

商品名：タイフィム ブイアイ注シリンジ

〔精製チフス菌 Vi 多糖体ワクチン〕

1. 腸チフスについて

腸チフスは、サルモネラ属に分類されるチフス菌による急性全身性感染症です。

一般に食中毒などで診られるサルモネラ感染症とは区別されます。(腸チフスは3類感染症)

チフス菌は、ヒトにのみ感染します。汚染された食べ物や水を摂取することで感染します。

潜伏期間は通常10-14日ですが、菌量が多いと短縮します。主な症状は発熱で高熱が持続します。下痢などの消化器症状がみられることがあります。一旦解熱しても、約20%に再発を認めます。腸出血、腸穿孔を来すこともあります。近年は薬剤耐性菌が増加しています。

2. タイフィム ブイアイ注シリンジとは

腸チフスを予防するワクチンです。渡航の2週間前までに1回0.5mLを接種します。

通常、筋肉内に接種しますが、皮下にも接種することができます。

(「TyphimVi」は筋肉内接種または深部皮下接種でした。)

効果は約70-80%程度であり、徐々に低下します。(2-)3年経過後に再接種となります。

3. 接種対象者

流行地(リスク地域)へ渡航される2歳以上の希望者。特に、インド・パキスタン・バングラデシュのような高度流行地域においては、短期間渡航でも推奨します。

4. 副反応

他のワクチン接種と同様の副反応がみられますが、通常は一時的なもので数日で消失します。

最も多くみられるのは接種部位の痛み、筋肉痛、倦怠感、頭痛などです。

接種直後に注意が必要な副反応として、ショック、アナフィラキシー、血管迷走神経反射(気分が悪い、めまい、ふらつき)として失神があらわれる事があります。

5. 諸注意

2歳未満の小児への接種に対する有効性と安全性は確立していません。

チフス菌以外のパラチフスA菌及びB菌、または非チフス性サルモネラに起因する感染症を予防することはできません。

6. 健康被害が生じた場合 PMDAもよる公的救済制度の適応です。